

## 26-1 自閉症スペクトラム障害の最適予後のための早期介入に関する研究

主任研究者：神尾 陽子(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部 (H26.4-H29.3))

分担研究者 神尾 陽子, 高橋 秀俊, 石飛 信(精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部), 功刀 浩(神経研究所 疾病研究第三部), 馬塚 れい子(理化学研究所脳科学総合研究センター), 齊藤 卓弥(北海道大学大学院医学研究科 児童思春期精神医学講座)

### 1. 平成 27 年度の研究成果

本研究は、ASD 者のライフステージにわたる予後の向上に資する包括的な早期介入に関して、エビデンスに基づいた提案のために計画された。当該年度は、長期的なメンタルリスクを視野に入れると 2 歳時点では ASD スクリーニングだけでなく、家族要因も含めた包括的な行動チェックが重要であることが地域コホートの解析から明らかになった。また 2 歳時点で早期診断を受ける ASD 児の一群は予想以上に併存症や問題行動の合併率が高く、初診の段階でも包括的評価の必要性が示唆された。成人の発達障害以外の精神疾患患者や健常者においても、社会認知や言語理解と関連する脳領域の機能は ASD 症状の程度と関連することが示され、ASD 症状の程度は診断にかかわらず併存症や脳機能形成にも影響することが示唆された。また ASD の中間表現型として聴覚性驚愕反射とその制御機構の異常は一つの候補であるあらたなエビデンスとして、時間的安定性、日常場面での行動との関連、言語の韻律異常との関連性が示唆された。対して、発達障害臨床の現状は従来のカテゴリー診断の慣習が強く、治療選択にいたる診断過程にばらつきが大きいことも示唆された。

### 2. 平成 28 年度の研究計画と期待される研究成果

多摩コホートを維持・発展させつつ、縦断研究の強みとなる論文を発表する。当研究班では同一被験者から複数の臨床指標や行動、MRI も含む神経生理学的指標を収集しているため、H29 年度はオキシトシン受容体遺伝子多型と ASD の関連にも注目して、生物学的マーカーの同定を試みる。成人精神疾患患者を対象とした ASD 特性と脳機能研究から診

断横断的な ASD マーカーの同定にもアプローチする。これらの 3 年間の成果をとりまとめた発信を行う。

### 3. 行政施策への貢献度

発達障害者支援法の定める「発達障害者の自立および社会参加」に重要な精神保健の向上に寄与し、特別支援教育の推進にも貢献が大きい。

### 4. 研究発表

口頭発表 (国内 56 件、国外 18 件)

原著論文 (国内 5 件、国外 19 件)

総説 (国内 9 件、国外 1 件)

主な 5 課題

1. Kamio et al. (2015). Brief Report: Best Discriminators for Identifying Children with Autism Spectrum Disorder at an 18-Month Health Check-Up in Japan. *J Aut Dev Disord* 45(12), 4147-4153.
2. Takahashi et al. (2016). Relationship of the Acoustic Startle Response and Its Modulation to Emotional and Behavioral Problems in Typical Development Children and Those with Autism Spectrum Disorders. *J Aut Dev Disord* 46(2), 534-543.
3. Matsuo et al. (2015). Autistic-like traits in adult patients with mood disorders and schizophrenia. *PLoS One* 10(4), e0122711.
4. Kondo et al. (2015) Linguistic aspects of prosody is intact in children with autism spectrum disorders. *International Meeting for Autism Research Annual Meeting of the International Society for Autism Research (INSAR) Salt Lake City, USA*
5. Kamio et al. (2015). Brief report: large individual variation in outcomes of autistic children receiving low-intensity behavioral interventions in community settings. *Child Adolesc Psychiatry Ment Health*. ;9:6. doi: 10.1186/s13034-015-0039-6